

樹医からのアドバイス (Vol.12)

～元気な木が育つ土壤環境～

出雲市樹医センター

樹医 勝部 治良

木を健康に育てるためには豊かな土壤環境が必要です。今回は、木が健康に育つ、理想的な土壤環境について説明します。

【理想の土壤環境】

「ふかふかでよい土」

このフレーズ、一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。木が健康に育つよい土はふかふかです。この土には、水と空気、そして窒素やミネラルなどが適度に含まれています。また、それぞれの割合としては、土：水：空気（三相分布）＝25%：45%：30%であることが理想的であるといわれています。

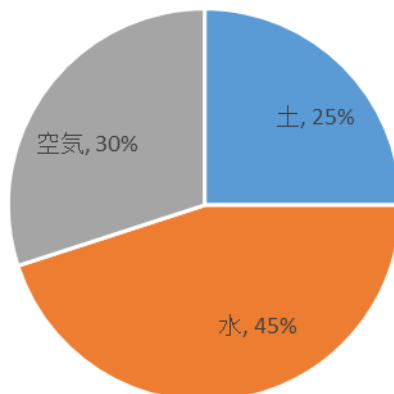
【ミミズが土を育てる】

木がよく育つ森林の土には腐植があります。腐植とは、落葉や落枝がミミズなどの土壤生物や微生物によって分解されてできる有機物のことです。腐植は土の栄養面、保水力などにより影響を与えます。また、ミミズなどが土中を動き回ることによって、土に空気を与え、適度に土が混ざり、ふかふかでよい土壤環境となります。

【よい土づくりをしましょう】

ご家庭の樹木を育てるうえで、水やりや肥料によって、よい土づくりを実践されている方もたくさんいらっしゃると思います。いつもの土づくりに加えて、落葉、落枝をすぐに片づけるのではなく、そのまま置いておき、腐植のサイクル（腐葉土）を作ってみるのもよいでしょう。

理想的な三相分布



豊かな土壤（表層 30 cm位までの深さ）は
通気性（30%）透水性（45%）が決め手